コロピタ支柱

ラックニー「リガ」ACL　811N　取扱説明書

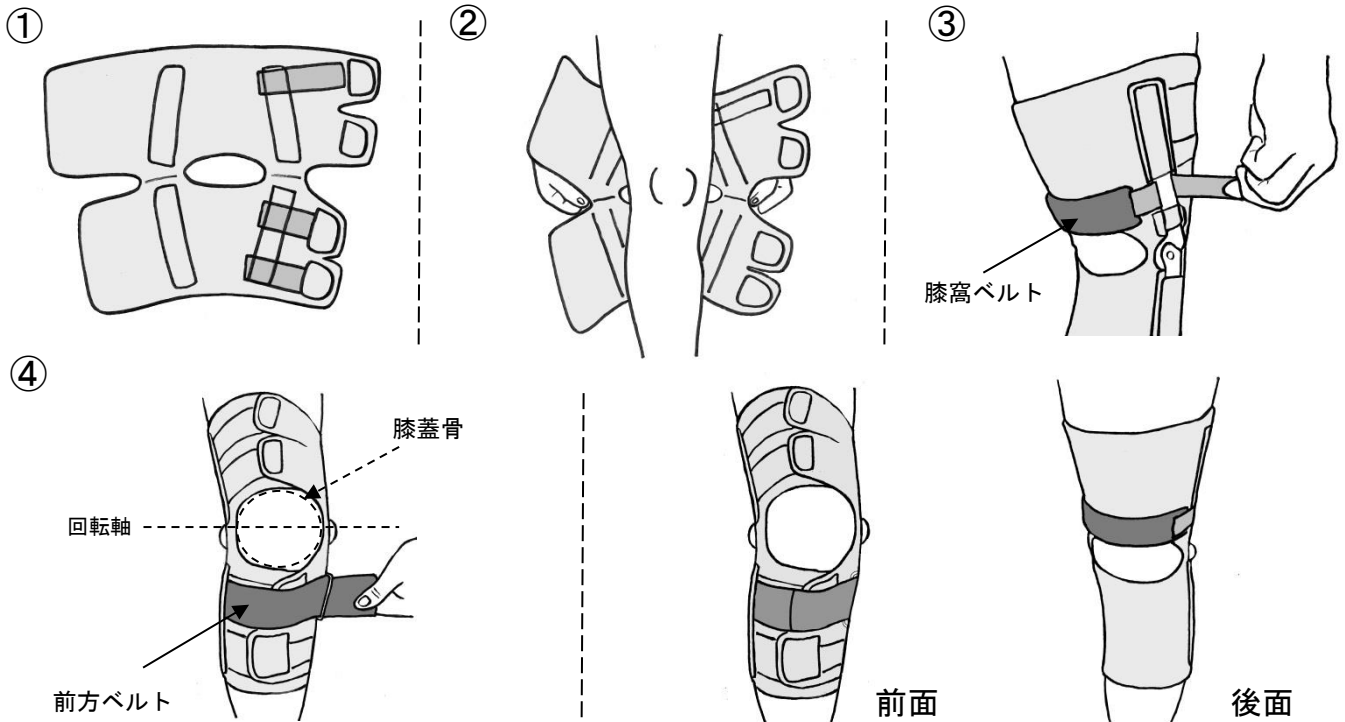
警告（この注意事項を守らないと、使用者が重傷を負うおそれがあります）

- 本装具は医師の処方のもと、義肢装具士が調整しご使用いただく装具です。
- 本装具の使用に際しては医師の指示に従い、義肢装具士など医療従事者の十分な指導を受け、正しくご使用下さい。
- 本装具の使用により痛みやしびれ、かぶれ等の異常が生じた場合は使用を中止し、速やかに医師または義肢装具士に相談し、指示に従って下さい。
- 使用期間及び使用状況によって、縫製部分などが破損する場合があります。破損した場合はすぐに使用を中止して下さい。
- 本装具の加工、改造は絶対に行わないで下さい。
- ご本人以外のご使用はお止め下さい。

注意（この注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害のおそれがあります）

- 装着前に必ず本体、ベルト、支柱等に異常がないか確認して下さい。
- 装着の際は、前後、上下、左右、表裏を確認し装着して下さい。
- ベルトは緩まないように装着して下さい。
- 使用中にずれ、緩みが生じた場合は必ず正しい位置に装着し直して下さい。
- 常に乾燥させてご使用下さい。

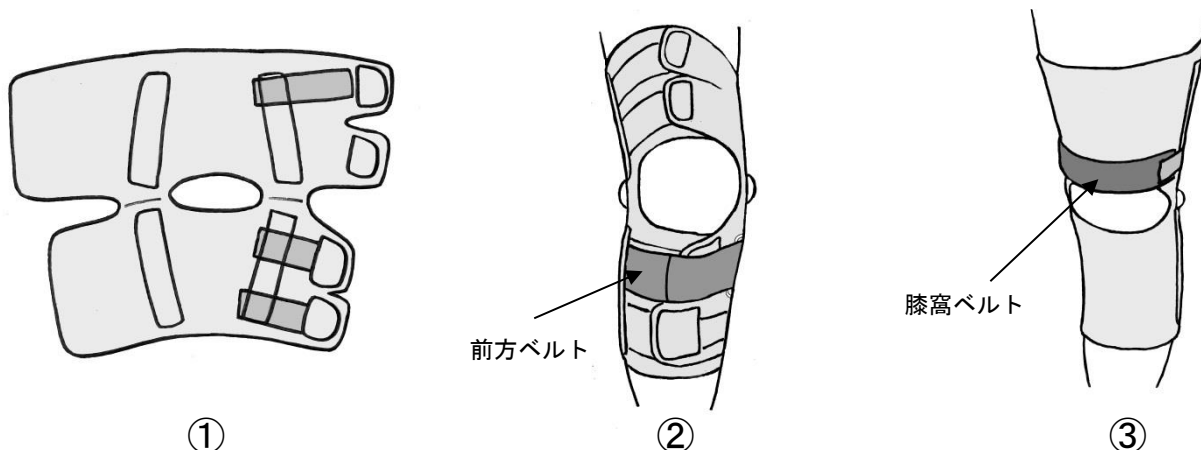
装着方法（右膝の場合）

- 本装具の上下、表裏を確認して下さい。〔①〕
- 本体を後方から膝に巻き、前のマジックテープを留めていきます。〔②〕
- 膝の膝蓋骨（お皿）のすぐ下、すぐ上、大腿部、下腿部の順に留め、再度締め直します。これによりフィット感が増します。特に膝蓋骨のすぐ下のベルトはしっかりと締めて下さい。
- 膝窩ベルトはきつ過ぎない程度に締めて下さい。〔③〕
- 最後に下腿部の前方ベルトをしっかりと締めて下さい。支柱の継手部分（回転軸）は膝蓋骨の中央の横に位置し、膝蓋骨をしっかりと出します。〔④〕

洗濯について

- 必ず、支柱と膝窩ベルトを本体から外し、中性洗剤で手洗いして下さい。
- よく水気を切り、陰干しして下さい。
- 漂白剤、乾燥機は使用しないで下さい。
- 洗濯後は支柱の形状をよく確認し、上下、左右を絶対に間違えないように入れ直して下さい。
- 制限角度によっては本体から支柱を外せないことがあります。その場合は、医師、または義肢装具士にご相談下さい。

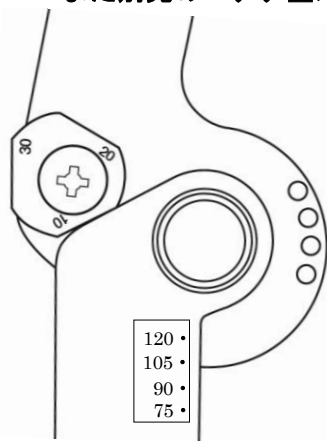
義肢製作所様用

本体構造

- 本体内蔵の伸び止めは本体前面に３ヶ所あります〔①〕。
- 下腿部の前方ベルトは下腿部の前方引き出しを防止します〔②〕。
- 大腿部後方の膝窩ベルトは下腿部前方ベルトのカウンターとなります〔③〕。

調整方法

- <u>使用前に装着者の脚の形状に合わせて必ず支柱を曲げて下さい</u>。
- 支柱を曲げる際の膝関節の角度は軽度屈曲位（約 20°～30°）です。
- 支柱を曲げる際、継手部分に無理な力が加わると破損する場合がありますのでご注意下さい。
- 制限したい伸展・屈曲角度に付属のコロピタやスペーサーをセットします。
- 締め付けが弱いとネジが外れますのでご注意下さい。
- ネジの緩みが心配な場合はネジ止め用の接着剤などをご使用下さい。

コロピタ支柱について

- 調整にはプラスドライバーを使用します。
- 大腿支柱に伸展・屈曲制限用のネジ穴があります。伸展制限にはネジとコロピタ（伸展角度制限パーツ/三角形）を、屈曲制限にはネジとスペーサーを取り付けます。
- コロピタは表裏を逆にしてそれぞれ左右の支柱に使用します。左右兼用です。
- 制限できる角度を下に示します。
- また別売のバナナ型スペーサーを使用することで、強力な屈曲制限が可能になります。

伸展制限　10°　～　30°　３段階（10°間隔）

制限したい角度にコロピタを下腿支柱の縁と平行に接するように合せます。
コロピタの各辺にある数字が制限角度を示します。

屈曲制限　75° 90° 105° 120°　４段階（15°間隔）

大腿支柱のネジ穴の制限したい角度にスペーサーとネジを取り付けます。

※改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

取扱義肢装具製作所

製造・発売元　　世界遺産　石見銀山
中村ブレイス株式会社
本　　社/〒694-0305　島根県大田市大森町ハ１３２
TEL(0854)89-0231(代)　FAX(0854)89-0018
東京事務所/〒158-0097　東京都世田谷区用賀１－１０－３
世田谷ビジネススクエア ヒルズⅡ　2F-25号
TEL(03)3709-9361　　FAX(03)3709-9362

2013.7